

### 鎌ヶ谷市総合基本計画について

矢崎 悟 議員

○ 令和7年の日本の総人口は前年から約90万人減少し、少子高齢化、人口減少の課題が深刻さを増しています。市の出生数を上げる施策として令和9年度からの後期基本計画での取組の方向性を伺います。

○ 人口減少対策と出生数の向上を重要課題として位置付け、各分野において重点的かつ優先的、また横断的に取り組む重点プロジェクトを設定し、事業の重点化を図っています。

### カスタマーハラスメントに対する対策について

小易 和彦 議員

○ 職員向けの対応マニュアルは一人一人の職員がカスタハラにどのように対応したらよいか判断する上で非常に重要だと思いますが、鎌ヶ谷市職員カスタマーハラスメント対応マニュアルの概要を伺います。

○ 本マニュアルはカスタハラから職員を守り、職員が一丸となって毅然とした態度で臨むことを目的に策定しました。カスタハラの定義を「要求を実現するための手段や態様が社会通念上相当なもので、その手段等により職員の就業環境を害するもの」としておりカスタハラに該当する可能性のある言動や判断基準、基本的な対応や避けるべきポイントなどとともに、カスタハラに對してどのように対応したらよいか、分かりやすいように対応フロー図を載せています。

### 多様性と共生社会の推進について

富田 信恵 議員

○ 外国人住民の増加に伴う言語や生活習慣の違いへの市の取組を伺います。

○ 市民課をはじめとする窓口では、多言語翻訳機や通訳サービスを活用し意思疎通を図っています。また、生活課題の取組として生成AIによる画像認識を用いて10言語でごみの分別を案内できる「鎌ヶ谷AIごみナビ」を令和8年4月に導入します。

○ 障がい者の差別解消に向けた取組を促進する取組を検討していきます。

### 市民の安全安心の暮らしのための対策について

伊福 幸一 議員

○ シェアサイクルを活用した市を盛り上げるイベントの実施についての見解を伺います。

○ 事業者からは、隣接する複数の自治体でキャンペーンの実施や観光地を巡るスタン

### 成年後見制度について

葛山 繁隆 議員

○ 同制度の主な対象者を伺います。

○ 認知症などにより判断能力が不十分で、具体的には、口座から預貯金を引き出す、家賃や公共料金を支払うなどの金銭管理、介護サービスや施設入所等の契約を行うための判断などが難しい者が対象です。

○ 同制度の課題に対する解決策を伺います。

○ 市では、支援が必要な者を早期に把握するため、地域包括支援センターやケアマネジャー、地域の民生委員や自治会、介護サービス事業者などとの連携を強化し併せて必要な情報提供を適宜行っています。また、市民の立場で後見活動を行う市民後見人を育成するため、後見制度の実務に携わっているNPO法人に委託し、市民後見人講座を継続して実施していきます。

### デジタル技術の活用による市民生活の利便性向上について

後関 俊一 議員

○ デジタル化の推進について、市の基本的な考え方を伺います。

○ 少子高齢化や労働力不足等の社会課題に対応し、持続可能な行政運営を図るためDX基本方針を策定しました。本方針ではDX推進環境の整備、市役所業務の効率化、市民の利便性向上の3つの取組領域を定め、バランスの取れた施策を推進します。

○ 市のビジョンと今後の展開を伺います。

○ ビジョンとして一人ひとりの便利で快適を支えるまちを掲げ、DXを推進していきます。具体的には各課1名程度の推進リーダーの育成、契約書類の作成等を自動化する契約管理システムの導入、保育園業務のデジタル化のほか書かない窓口やオンラインで完結できる行政手続きの整備などにより業務の効率化と市民の利便性向上を目指します。

### 請願・陳情を提出される方へ

請願・陳情はどなたでも提出することができますが、各会議で審議を希望する場合は、議会事務局窓口へ直接提出してください。

請願書は、議員の紹介が必要ですが、要旨が簡潔、明瞭に記載してください。内容が多岐にわたる場合は、それぞれ別の請願書(陳情書)に分けてください。

なお、郵送により提出された陳情は、その写しを全議員に配付しますが、審議はいたしません。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

### 生活保護行政の現状と課題について

松原 美子 議員

○ 市の生活保護世帯数の推移を伺います。

○ 平成27年度の983世帯に対し、令和6年度は1千176世帯で193世帯、19.6%の増となっており、生活保護世帯は年々増加しています。

○ 市の世帯類型別世帯数を伺います。

○ 令和6年度の生活保護世帯1千176世帯のうち、男女ともに65歳以上の者のみで構成されている高齢者世帯は585世帯で約50%、配偶者がいない

### 文化財を活かした観光施策について

泉川 洋二 議員

○ 市内に点在する文化財について、文化庁が進める日本遺産のような視点を取り入れた的な観光展開に関する見解を伺います。

○ 市内の遺跡などを中心として、今後は面的な広がりを意識した散策コースの検討、マップや案内看板の作成など文化財を観光につなげる取組

○ 近隣市にも点在する野馬土手関連施設を近隣自治体と連携した広域ネットワーク化などが大切だと思いますが、観光周遊の視点としての考え方を伺います。

○ 点在する野馬土手を線で結ぶような観光周遊の視点は文化財を観光資源として考える実施を考えています。

### 学校給食費無償化後の給食の質向上及び食育の充実について

水町 元大 議員

○ 学校給食費無償化の拡大に伴う市の給食関連予算の財源を伺います。

○ 国が新たに創設した交付金を充当し、不足分は公費補填します。

○ 給食を通じた食育の推進について伺います。

○ 第3期鎌ヶ谷市教育振興基本計画では、食育について「健やかな身体づくりと心豊かな食卓を、食の自立を目指す力をつける」、「食を大切に力をつける」の目標を掲げ推進しています。

### 北千葉道路の整備を見通したまちづくり

宗川 洋一 議員

○ 市街化調整区域の土地利用方針を策定する目的を伺います。

○ 北千葉道路の整備など、市への影響が大きいインフラ整備を控える中で、市街化調整区域の現況や立地、社会ニーズなど、各区域の実情に応じた適切な土地利用を方向づけることを目的としています。

○ 北千葉道路・IC等のポテンシャルを生かした4つのエリアにおける主な立地誘導施設・機能を伺います。

○ 新鎌ヶ谷駅周辺西側地区は、住宅・商業・本社オフィスなどです。(仮称)鎌ヶ谷東IC周辺は、道の駅・大規模施設園芸等の農業生産機能などです。(仮称)鎌ヶ谷西IC周辺、都市計画道路3・1・2号栗野田境線エリアは物流・情報通信・製造業などです。北千葉道路沿道は商業・流通業務機能などです。



澁谷家住宅(登録有形文化財)

